

2022年度 戦略施策マネジメントシート【2021年度実績評価】 作成: 2022年 6月 10日

施策番号 4-3	施策名 観光振興プロジェクト	基本的方向	まちの観光拠点である新嵐山を活用し個性を活かした観光地域をつくる			
		基本目標	ひとが集い、誰もが安心して暮らすことができる魅力的なまちづくり			
	主管課	魅力創造課	課長名	西田昌樹	内線	231
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
豊かな自然や地域のおもてなしを通じて、「芽室町の個性を体感できる場」をつくるとともに、地域資源を活用した観光まちづくりを推進し、まちのブランド力の戦略的な活用を図りながら、観光誘客を促進する		町民、観光客		・利用者数の増加 ・観光消費や物産購入につなげる			観光客の増による地域内経済の活性及び魅力ある地域内資源の再発見による郷土愛の醸成	
重要業績評価指標(KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2024年度(目標)	
① 新嵐山スカイパーク利用者数	実績数(年間)	人	488,100	281,257	273,520		513,000	
②								
③								
評価指標設定の考え方	年1%増加を目標とし、30年度から34年度までの5年間につき5%増で設定							

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	111,026	109,826	
人工数(業務量)	0.5176	0.5542	

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	コロナ禍における行動自粛、団体利用の激減等、以前の生活様式の一時的变化が恒常的・通常化したことによる影響と想定される。
②2024年度の目標値達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	観光振興にとって、現況下ではかつての団体利用は見込めず、個人利用の回復は見られるものの、行動自粛・制限は最も大きなマイナス要因となり、今後の新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、急激な回復は見込めない。 しかしながら、来るべき回復状況を見込み、その時の素地となるべき対応準備を怠らず、遂行することで大幅なマイナスは回避できるものと考えられる。 そのために芽室町観光物産協会との連携、新嵐山のリニューアルの動きへの対応などと連動しながら観光資源と特産品の魅力を発信し続け、誘客促進策を継続していくが、目標値達成は困難と考える。
(2) 施策の成果評価に対する第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	新嵐山スカイパーク運営支援事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	≪新嵐山スカイパーク運営支援事業≫ 新プランに基づく改革を断行したことにより管内をはじめとする個人・家族の新規利用者層を呼び込むことができたが、かつての団体客による集客はコロナによる影響が大きく、人の流れの制限などにより、特に海外、道外、管外からの旅行・観光客が減少し、それに伴って利用者数の増加につなげられていない。 ≪町観光特産品普及事業≫ 各種イベント、事業を通じて、町の魅力としていわゆる観光のみならず、ヒトやモノも含めた魅力を創造し発信することができた。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(総合戦略策定時との比較)

担当課 評価	成果指標による数値は下がっているものの、コロナ禍において従前とは異なる新たな手法を積極的に取り入れ・実践し、大規模イベントや団体客が見込めない中でも新規客層、新規顧客の獲得など善戦していると考えている。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A: 実現した B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C: (総合戦略策定時と比較して)前進した  
D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (総合戦略策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長引く新型コロナウイルスの影響で、人々の観光に対するあり方、ニーズなどが大きく変化している。</li> </ul> <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人客を基本とした観光集客手法を積み重ね、アフターコロナを想定した準備、スタートダッシュできる状況づくりが必要である。</li> <li>・ふるさと納税は芽室町の素材力から今後も寄附額の増を見込めることから、最重要施策として取り組む。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>《新嵐山関連》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新嵐山スカイパーク改革に関する関係機関、関係者への説明の徹底</li> <li>・スキー場ナイター営業日の増</li> <li>・スキー場にスノーパークを</li> <li>・スキー場の管理が悪い</li> <li>・町民割を</li> <li>・スキー場を教育の場としての活用を</li> <li>・接客が残念だった</li> </ul>

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新嵐山活用計画に基づいた施設整備、管理運営を進め、スカイパーク一帯の資源を活用した新しい魅力づくりに取り組み集客を図る。</li> <li>・芽室町の資源を活用したツアー事業の確立、実施運営者の組織化を通じて、芽室町の観光振興を図る。</li> <li>・新たな特産品創造を進め、ふるさと納税や関係・交流人口の創造などにつなげるなど、広く事業の成果向上につなげていく。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価と同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (総合戦略策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (総合戦略策定時と比較して)後退した</p>					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価、経営戦略会議評価と同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見		<p>A: 実現した</p> <p>B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (総合戦略策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (総合戦略策定時と比較して)後退した</p>					